

碩 心

社団法人 日本詩吟学院 岳風会 認可
 神奈川 碩 心 会 発 行

12年12月現在 逗子地区 葉山地区 大会(合)	会員数 129名 188名 29名 346名	12年12月 (341号)	発行者 千 葉 岳 関 編集者 白 井 岳 麗
-----------------------------------	------------------------------------	---------------	----------------------------

平成13年度 行事予定

- 碩心会 初吟会
 日時・1月14日(日) 午前10時より
 場所・逗子会館 一階ホール
- 全国青壮年吟道大会
 日程・2月12日(日)
 場所・日本教育会館
 入場料・一〇〇〇円 弁当、プロ配布
- 第7回全国優秀吟者吟道大会
 日程・3月11日(日)
 場所・明治神宮会館
- 春季審査会
 日時・3月20日(日) 10時
 場所・逗子市図書館ホール
- 高段者審査会
 日程・4月7日(土) 14日(土)
 場所・磯子公会堂
- 第112回全国吟道大会
 合吟コンクール予選会
 日程・4月21日(土)
 場所・栄区公会堂
 当会より20名女子合吟出吟

☆総本部の評議員、参事について
 総本部より評議員、参事が左記の通り委嘱
 されました。

評議員 加藤岳洵
 参事 松井正岳、上村岳章

○詩舞紫舟流40周年記念大会協賛出吟

日程・4月30日(日)

会場・鎌倉芸術館小ホール

男女各一組、合吟の協賛出吟をいたしま
 すので多数ご参加下さい。

当日は各流、各派の一流吟舞・吟士の出
 演があります。

出吟料・二〇〇〇円

申し込み切・13年1月14日初吟会当日まで

申込先・総務 松井正岳

○第6回神奈川県本部年齢別吟詠大会

日時・5月19日(土) 20日(日) 9時〜17時

場所・地球市民かながわプラザ

JR根岸線本郷台駅下車 徒歩3分

出場資格・65才以上(総伝者を除く)

申し込み切・2月25日 必着

申込先・総務部長 松井正岳

☎〇四六八一五六一九三三二

出吟料・二〇〇〇円

課題吟

・和歌の部(朗詠集)

多摩川 20頁 同じところ 54頁

諏訪湖畔 78頁 白鳥は 84頁

春 90頁

・漢詩の部(第一〜五和漢名詩の吟じ方)

芳野 一巻36頁 山中問答 二巻74頁

早に深川を発す 三巻6頁

一声の仁 四巻14頁 偶成 五巻14頁

○第10回神奈川地区青少年吟道大会

日程・6月10日(日)

場所・地球市民かながわプラザ

碩心会より

白井岳麗先生へ感謝状

白井岳麗先生は、御夫君白井寿岳様の七回忌に際し、ご供養として舞台用の電光掲示板を碩心会へ寄贈されました。11月19日(日)の葉山地区温習会に於て、碩心会千葉岳閣会長より記念品を添え感謝状が贈られました。

白井先生のご好意により舞台上は、大層格調高く、出吟番号も一目瞭然となりました。誠にありがとうございました。

葉山地区温習会に参加して

逗子B 磯村 岳 朋

11月19日葉山町福祉文化会館において、今年度、今世紀最後の吟道大会が開催されました。大きな会館なので舞台に立って気持ちも引き締まりました。

ひとつ気になったのは、声がマイクに入っていないかったのか、迫力が無かったように感じました。欠席者が多かったので予定の時間より早く昼食休憩に入りました。

午後は許証授与と、白井岳麗先生に感謝状贈呈があり、拍手に包まれておりました。

千葉岳閣会長の挨拶のなかに、ネームプレートと吟バッチの着用の徹底をするようにとの呼び掛けがありました。

協賛吟詠に入り逗子Bも発表。指導者吟詠役員吟詠は大変参考になりました。

今回のプログラムに初めて作者名を載せたことと、「あなたも詩吟を始めませんか」と書かれていたのが大変印象に残りました。

吟道に精進する者の名譽にかけて今後も盛会になるよう全員協力いたしましょう。曇りがちの寒い日、一日吟に浸りました。

総伝会親睦旅行

県本部総伝会幹事 沼田 岳 義

神奈川県本部主催の総伝会親睦旅行が去る11月26日(日)〜27日(月)の一泊二日にかけて行なわれ、行先は南房総鴨川と紅葉の養老溪谷でした。

碩心会では千葉会長先生を始め13名の先生方のご協力で無事に滞りなく終了いたしましたことを心より御礼申し上げます。

毎年行なわれておりますが行先の設定や、出席者の人集めに県幹事会では苦労しております。今回は第一地区16名、第二地区17名、

京浜地区24名、湘南地区17名の合計74名でした。一号車が京浜と湘南地区、二号車に第一と第二地区の会員が乗り、首都高速1東京湾アクアラインのコースで海ホテルで見学休憩

金谷港にて昼食後、鴨川ホテル海光苑に14時到着。14時30分より吟詠大会となりました。

大会終了後は宴会となりカラオケなどで賑やかに楽しく過ごしていただきました。

翌朝9時、鴨川を出発し海産物センターへ寄り、小湊誕生寺へ参拝。養老溪谷では川幅30Mの一枚岩を流れる栗又の滝を見てから大

多喜で昼食。帰路は又アクアラインを通り、横浜、平塚、逗子、横須賀とそれぞれ無事に帰着しました。

傾心会総伝者の皆様ありがとうございました。不馴れで申し訳ありませんでしたが、今後また第二地区幹事の一人として頑張りますのでご協力の程よろしくお願いいたします。

吟法シリーズ (その二)

村田 岳 滞

正しいアクセント

正しい発音には、正しいアクセントが要求されます。日本語はどんな語でも必ず音の高い部分と、低い部分とからなっており、高い部分にアクセントがあります。正しいアクセントは言葉の意味を正しく伝える為にも必要です。

- 「甕の如し」 かめのことし
- 「亀の如し」 かめのことし
- 「陽にあたれ」 ひにあたれ
- 「火にあたれ」 ひにあたれ
- 「神」 かみ 「紙」 かみ

日本語のアクセントを(1)平板型(2)頭高型

(3)中高型の三つに分けます。

	二拍の場合	三拍の場合	四拍の場合	五拍の場合	六拍の場合	七拍の場合
平板型	みーず (水)	みずの (水の)	ぶんめい (文明)	じろざし (志)	おせい せ (長征は)	んぎんするは せ (銭吟するは)
頭高型	こえ (声)	てんか (天下)	かんとう (関東)	しずかなり (静かなり)	けんなれど (険なれど)	いのちなりけり (命なりけり)
中高型	はな (花)	あおぐ (仰ぐ)	ひしく (筈は)	あきらかに (明らか)	あぶやかなり (鮮やかなり)	あぶやかなり (鮮やかなり)
中高型		ひかり (光)	にっぽん (日本)	すべからく (須らく)	さぶかくろう (曹鶴楼)	たいかにて (平らかに)

アクセントの表示と音位

20周年記念詩吟のつどいを終えて

矢嶋 岳 悦

去る12月3日(日)逗子会館二階グランドで堀内支部F班(矢嶋教場)の20周年記念詩吟のつどいを開催いたしました。

数日前より当日は雨との予報に心配しておりましたが、過去二回の会も大雨のあとの上気を思い出し、二度あることは三度と信じておりました。まずまずの陽気に感謝しました。

先生方には御多忙のところ御出席頂き、範吟、範舞と、ご熱吟頂き心よりお礼申し上げます。当会員の皆様も五年前より企画、一人一人が自分の役割を勤め、団結し、盛会の裡に無事終了。指導者名物の幸をかみしめております。ありがとうございました。

昭和55年4月発足以来、当時の入会者が元気で続けて勉強していられます。20年の間には主婦、母、職業婦人と三役も四役もやりこなし教場に通って来られた。皆さんよくがんばりました。飛びぬけた名吟者はおりませんが、何にでも挑戦、チャレンジ精神旺盛な素晴らしい仲間です。

余談ですがたまたま更衣室で押山さんの胸元がおかしいので注意すると、シャツの胸に亡き吟友袴田さんの写真が張られておりました。「10周年、15周年を一緒に祝った袴田さんも20周年のお祝いの仲間に入れてあげ、大好きだった山中の月を吟じる」と涙ぐまれ友情の尊さを学びました。詩吟を愛し、友人を愛する同じ道を歩む一人として感無量で共に涙しました。

これからも25周年に向い、共に学び、頑心会の指導者として精進してまいります。

諸先生、諸先輩の方々御指導、御鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

末筆で申し訳ございませんが宇都宮徳岳先生よりお褒めの詩を作っていただきましたので披露申し上げます。(後述参照)

矢嶋教場二十周年記念

詩吟の集いに出席して

松和支部 宇都宮 徳 岳

去る12月3日、逗子会館における頭書の集いにお招きを受けその見事さに感心しました。即ち千葉会長殿の御挨拶の通り、数多き教

場の中20年熱心な指導を続け、かかる立派な詩吟の集いを成し得るのは珍らしく私達の模範であると思つた。立派に育つたお弟子さんの合吟、独吟はいずれも優れ、立体吟詠、祝舞にも意欲的に取り組まれていられた。

会長以下の来賓の範吟が花を添え前半を終え、懇親会も途切れなく一同を楽しませ、最後の加藤副会長の御挨拶と万歳三唱で首尾を全うした。その企画と運営に感服しました。そこで20周年の二十年と矢嶋教場の読み込みの即興の拙歌を披露した次第です。御盛会おめでとうございました。

二十年周年記念矢嶋教場の集い

二十年やり続けしを 自慢せよ

今日の集いは 上々の首尾



短歌

一色支部 岸 本 里 風

夕暮を走る車窓の雨粒が

一瞬輝く微塵の紅に

鬼さんはこちらと枯葉とりどりに

転げころげて風の道たのし

教室名変更の訂正

11月号に掲載の指導者及び教室名変更の件の通り訂正

幸和支部 松井教場に

入会

357 根岸和子 横須賀市芦名二一七七一五

(下山口) ☎〇四六八一五六一〇三五七

退会

234 嘉山静風(栄支部)

編集後記

「年を以て巨人としたり歩み去る」虚子
20世紀を送る、まさに大きな節目の年。去
来するものは万感尽きせぬことでしょう。本
年も広報の編集に沢山のご好意と原稿をいた
だき厚く御礼申し上げます。御自愛の上どう
ぞ良き新春をお迎え下さい。